



KTV-FSUSB2/V3

ユーザーマニュアル

お知らせ:

本マニュアルに掲載された画像は参考用となります。内容は製品及びバージョンによって変更される場合があります。マニュアルの記載事項は正確を期すべく細心のチェックが行われていますが、内容の正確性については保証致しかねます。当社は予告無しにマニュアル内容を変更する権利を有します。

著作権

- © 本マニュアルに記載・表示されている会社名商品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。恵安株式会社の書面による同意なしに、本出版物のどの部分も電子、機械、電磁、光学、人工及びその他の方法での複製、転送、書き換え、及び検索システムへの保存、或いは他の言語やコンピュータ言語へ翻訳することを禁じます。

B-CAS カードについて

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。必ず台紙の注意事項をお読みになり、必要事項をご記入の上、ご使用ください。

また、恵安株式会社へ本製品を返品する必要があるときでも、B-CAS カードを同梱(返品)する必要はありません。

地上デジタル放送への、完全移行は 2012 年 3 月 31 日を持って終了し、全国地デジ化は完了いたしましたが、お住まいの地域の電波状態やアンテナ環境によって、視聴ができない場合もございます。

その場合は総務省 地デジコールセンターへお問い合わせください。(0570-07-0101)

(地デジコールセンターは地デジ移行の進捗状況に伴って、拠点の統合・閉所も進んでおりますので、最新の情報はデジサポ HP をご確認ください。)

安全上のご注意

○不安定な場所に置かないで下さい

傾いた場所など不安定な場所に置くと、倒れたり落ちたりして、けがの原因となります。

○温度・湿度の高い場所では使用しないでください

火災や故障の原因となります。

○分解・改造はしないでください

火災・感電の原因となります。

○付属のケーブル以外は使用しないでください

他の機器のケーブルを使うと火災や感電の原因となる場合があります。

付属のケーブルは本製品専用です。他の機器につないで使わないでください。

○液体を入れたり、濡らしたりしない

液体の入った容器の近くに置いたり、ペットが機器の上に乗らないようにしてください。液体が中に入った場合、火災・感電の原因となります。

○濡れた手で本製品を触らないでください感電の原因となる場合があります。

○本体の通風孔を塞がないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となる場合があります。

注意事項

国外では使用できません

- ・ この製品が使用できるのは日本国内のみです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

設置について

- ・ 発熱する機器の近くや直射日光の当たる場所には本機を置かないでください。
- ・ 本機の上には物を置かないでください。
- ・ 不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。
- ・ 窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

UHF または UHF/VHF アンテナについて

- ・ 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- ・ アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。
- ・ アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、電器店や設置業者等にお問い合わせください。
- ・ アンテナを新たに設置する場合は、アンテナに付属のマニュアルにしたがって正しく取り付けを行ってください。

直射日光や熱気を避けてください

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。
- ・ 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となること
があります。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- ・ 急激な温度変化が起こる部屋(場所)でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ・ 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

使用温度:0℃～ +40℃ ARIB 規格準拠

使用上の注意

- ・本機は、BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーを内蔵しておりません。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送をご覧になる場合は、別途 BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーをお求めください。
- ・地上デジタル放送を受信するためには対応した UHF アンテナが必要です。設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物が建っていたり、電波が弱い場合などは受信ができなかったり、特定の放送局しか受信できないなどの障害が発生することがあります。電器店やアンテナ設置業者等にご相談の上、最良の電波状態となるようアンテナを設置してください。
- ・CATV の受信は、サービスが行われている地域でのみ受信が可能です。地上デジタル放送がパススルー方式で送信されている場合は、本機のアンテナ端子に接続して受信することもできます。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- ・マンションなど集合住宅での共同受信の場合、詳しくは管理組合または管理会社等にご確認ください。
- ・本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- ・万一、本機の不具合により、視聴や録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- ・本機は ARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ・商品の仕様およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。

B-CAS カード保管の際の注意

付属の B-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくためのカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、下記の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。

破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

また、第3者がおお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

B-CAS カードのお問い合わせ

株式会社ビーエス・コンデンショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

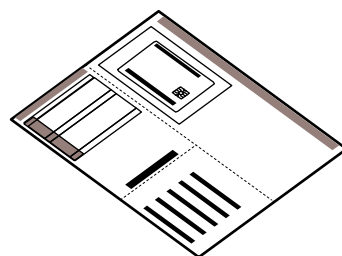
TEL:0570-000-250 (受付時間:10:00~20:00)

パッケージ内容

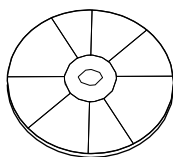
商品をご購入頂いたら、下記の付属品が全て含まれている事を確認してください。



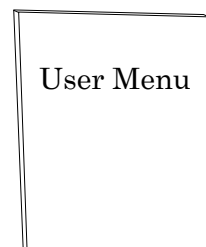
本体



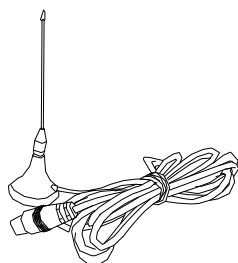
B-CAS カード



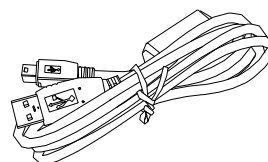
ドライバ+アプリケーション CD



ユーザーマニュアル + 保証書

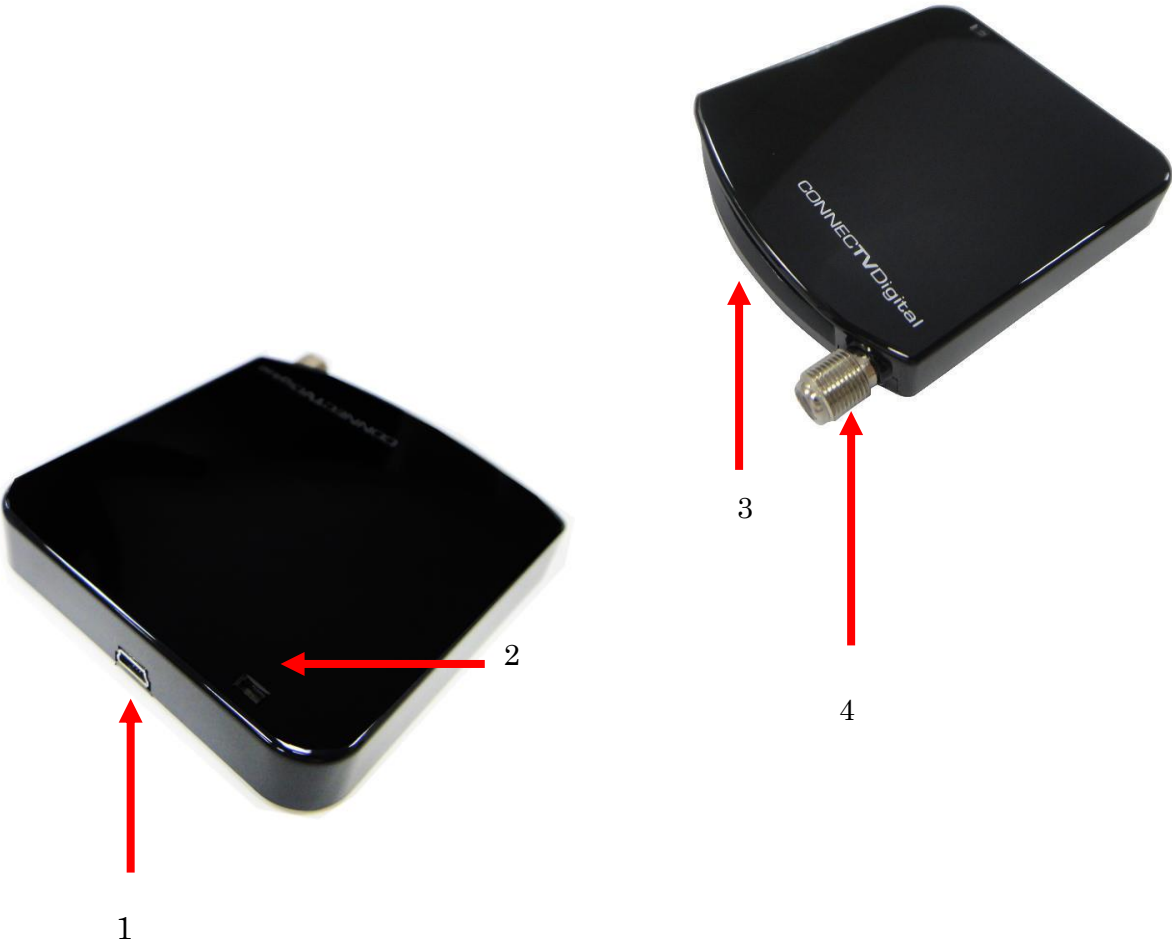


外部アンテナ(ワンセグ用)



USB ケーブル

各部説明

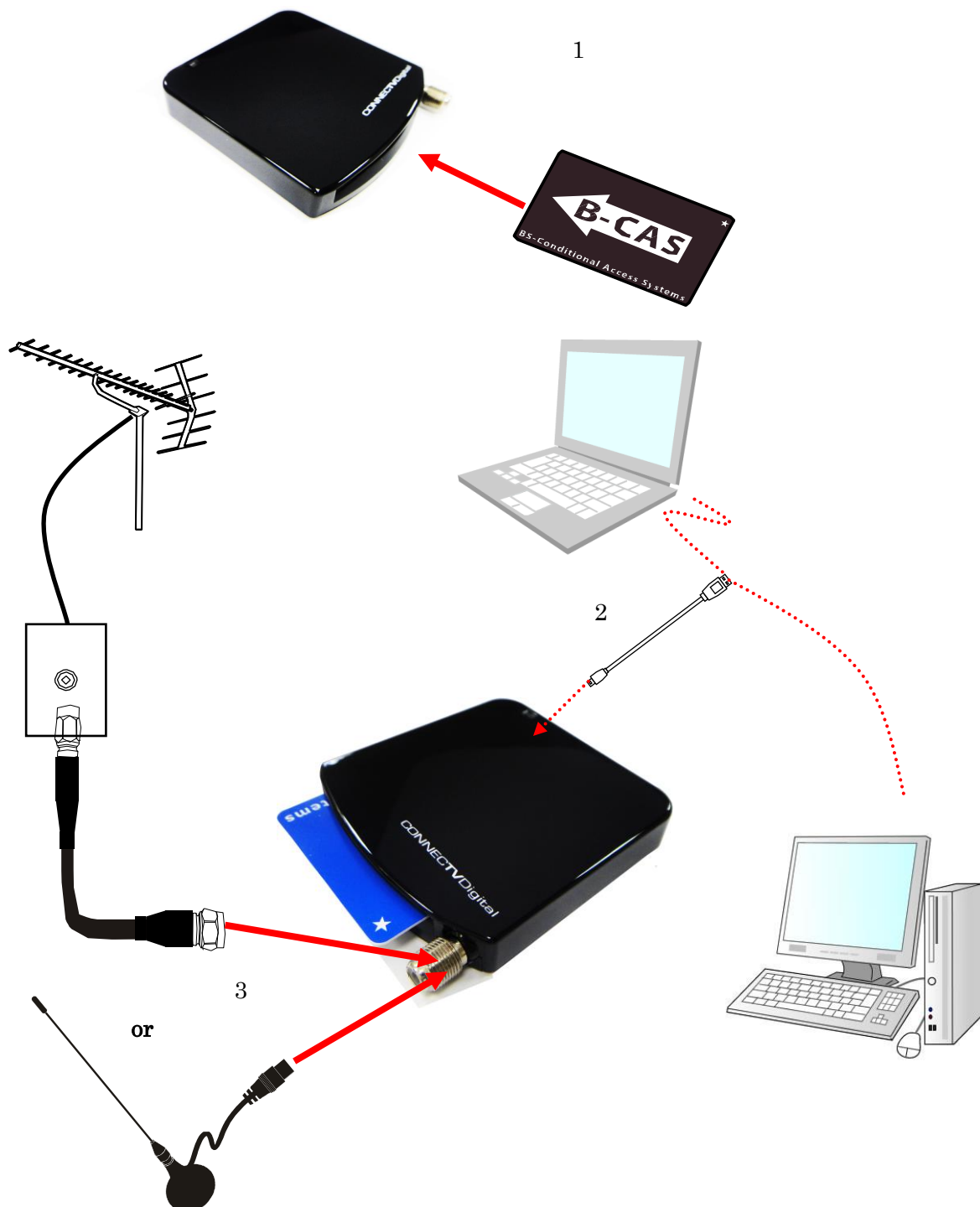


1

1	Mini USB ポート	付属の USB ケーブルを接続してください。
2	電源ランプ	電源の ON/OFF を確認する為のランプです。
3	B-CAS Card スロット	付属の B-CAS カードを挿入してください。
4	アンテナ	F 型アンテナケーブルを接続してください。

本体の設置、インストール方法

下図を参考に本体のインストールや設置を行ってください。



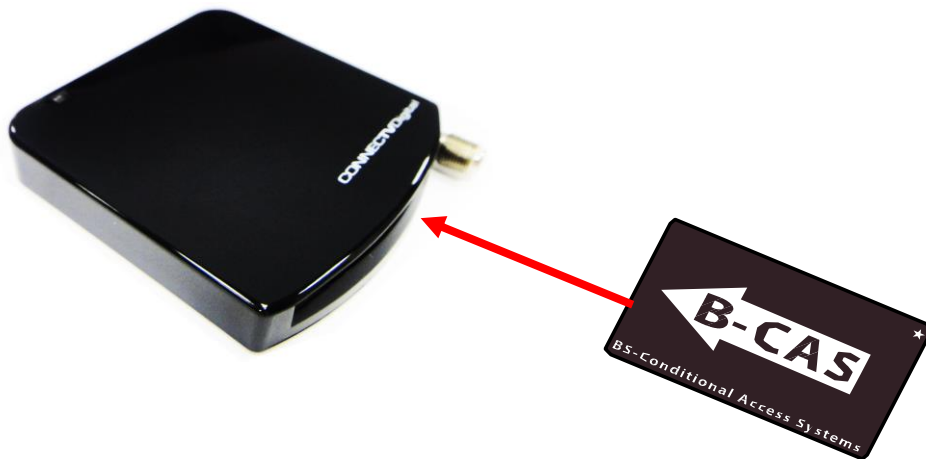
1. B-CAS カードスロットに B-CAS カードを差し込んでください。
2. 付属の USB ケーブルを本体の Mini USB ポートに接続し、逆側の USB コネクタをパソコンに接続してください。
3. ご家庭のアンテナケーブル(F 型)を本体のアンテナコネクタに接続してください。ワンセグ視聴の場合は付属のワンセグ用外部アンテナをアンテナコネクタに差し込んでください。※ワンセグ用アンテナでフルセグの視聴はできません。

B-CAS カードのセット

デジタル放送を視聴・録画するには、本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。

必ず下図のように取り付けを行ってください。

※カードの文字面を上向きに差し込んでください。



B-CAS カードの取り扱い上の注意

- ・ B-CAS カードをセットするときは、向きに注意して確実に差し込んでください。また B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- ・ 本製品使用中は、B-CAS カードに触れたり、抜き差ししたりしないでください。
- ・ B-CAS カードのIC金属端子には手を触れないでください。
- ・ B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- ・ B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- ・ B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
- ・ B-CAS カードを分解、加工しないでください。

セットアップ方法

次の手順で本製品のドライバ、ソフトウェアのインストールを行ってください。

①パソコン本体の電源を入れてください。

注意：(コンピューターの管理者権限があるユーザー名でログインしてください。それ以外のユーザー名では正常にインストールできません。)

②ドライバ&ソフトCDをパソコンにセットしてください。

③ご家庭の F 型アンテナを本製品に接続し、パソコンと本製品を USB ケーブルで接続してください。

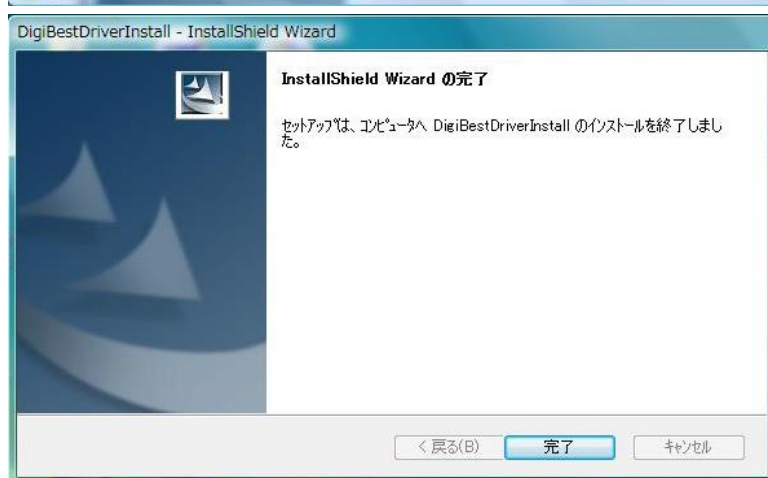
----- ドライバインストール方法 -----

1. 付属の CD をパソコンに挿入すると自動的に下図のようなインストールメニューが起動します。
まずはデバイスドライバを左にあるアイコンをクリックし、ドライバのインストールを行ってください。
※メニューが起動しない場合は付属 CD から、ドライバの場合は「Driver」、ソフトウェアの場合は「Software」をフォルダ選択し、「setup.exe」からインストールを行ってください。

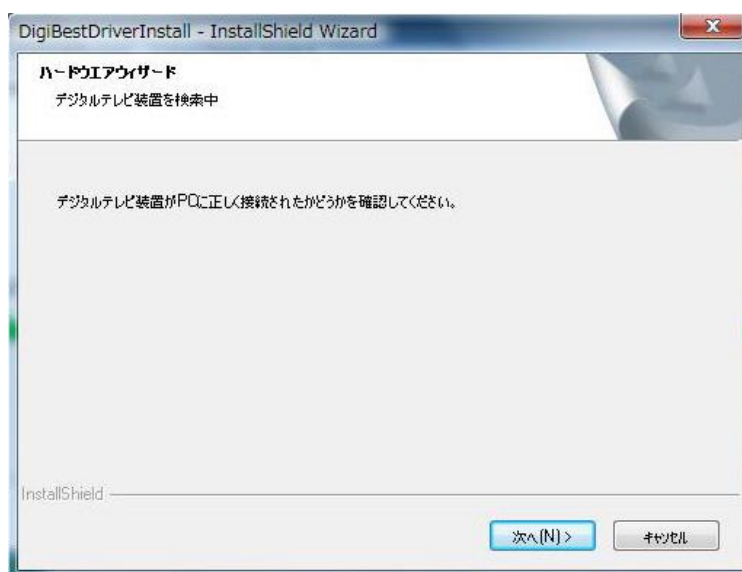


2. ドライバのアイコンをクリックするとドライバのインストールがスタートします。
下図の流れでインストールを進行し、インストールが終了したら完了ボタンを押してください。
「次へ」 → 「インストール」 → 「完了」



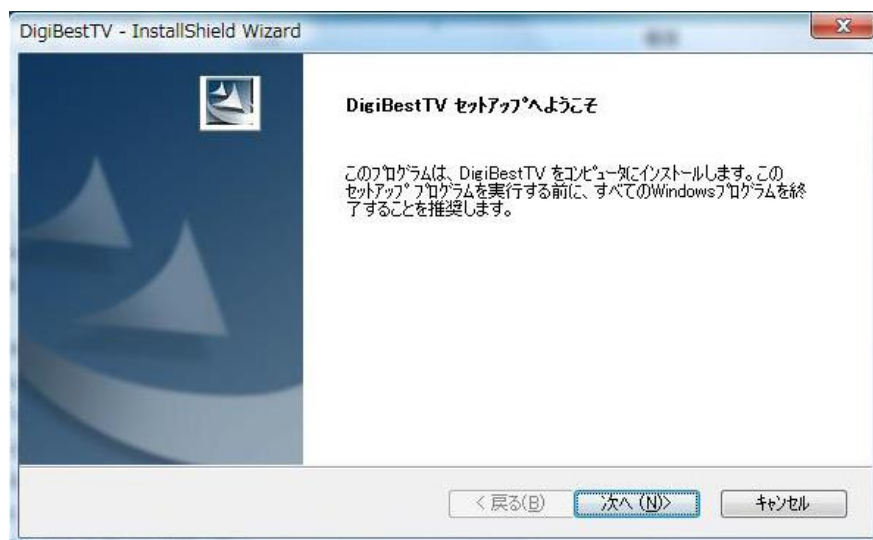


3. ドライバインストール中に本製品がパソコンに接続されていない場合、下図のようなメニューが表示されますので、表示された場合は本製品をパソコンに接続してください。接続しているのにメニューが表示された場合は一度 USB ケーブルを抜いて、再度差し直してください。



----- ソフトウェア(DigiBestTV)インストール方法 -----

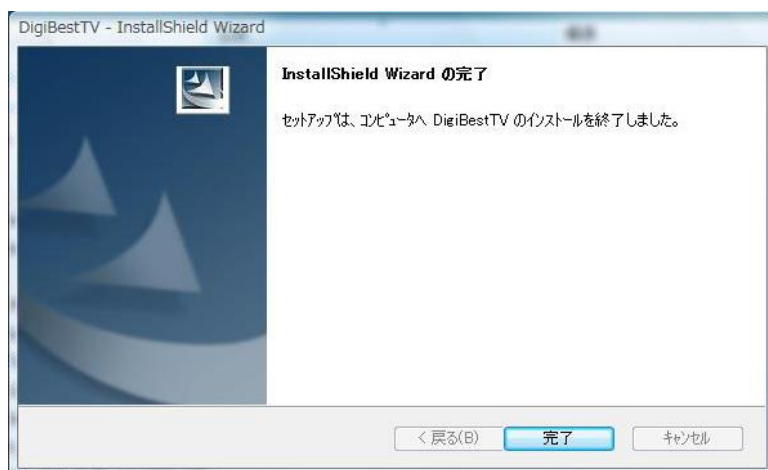
1. ドライバのインストール時と同じ様にインストールメニューから、視聴・録画ソフトの左にあるアイコンをクリックし、ソフトウェアのインストールを行ってください。 ※次へをクリック




2. 次にソフトウェアのインストール先を選択してください。特に変更がない場合はそのまま「次へ」を選択してください。



3. 地域と言語が「日本語」になっている事を確認し、「次へ」をクリックしたら、次に「インストール」を選択してインストールを進行し、インストールが完了したら完了ボタンを押してください。



ソフトウェアの起動、操作

ソフトウェアのインストールが完了したら、デスクトップにDigiBestTVのショートカットが自動的に生成されます。ショートカット“DigiBestTV”をダブルクリックすれば、DigiBestTV アプリケーションを開くことができます。



操作パネルの各ボタンの説明

No	ボタンと表示	機能
1	信号強度	視聴中のテレビ信号強度。本数が多い程、信号が強い。
2	チャンネル スキャン	テレビチャンネルをスキャンする、自動、手動、範囲スキャン 3 種類
3	ツール	テレビ各設定項目を調整する
4	チャンネル番組情報	チャンネルリストと電子番組表の表示
5	予約録画	予約録画のチャンネル、番組、時間、回数の表示
6	ヘルプ	DigiBestTVに関するインフォメーションを表示
7	最小化	DigiBestTVアプリケーション画面を最小化する事ができます。
8	フルスクリーン 全画面	フルスクリーン全画面表示
9	閉じる	DigiBestTVアプリケーションを閉じる事ができます。
10	視聴画面	テレビ視聴の画面、ここに 2 回クリックすれば、全画面表示になります。
11	番組の説明	視聴中の番組の説明を表示する
12	チャンネル コントロールパネル	テレビチャンネル基本機能の調節
13	CH アップ	1 つ上のチャンネルへ移動
14	CH ダウン	1 つ下のチャンネルへ移動
15	録画ボタン(開始、停止)	視聴中チャンネルの番組の録画を開始、停止
16	音量コントロール	音量の調節
17	データ放送	データ放送表示のオープン、クローズ(ワンセグのみ)
18	マルチ音声	マルチ音声の選択(放送に含まれる場合に限り)
19	主、副音声選択	音声多重放送の時に、主、副音声を選択する(音声多重放送番組に限り)
20	字幕	字幕の表示のオン/オフ
21	画面のキャプチャー	視聴中のテレビ画面を静止画キャプチャー(ワンセグのみ)
22	録画ファイル再生 コントロールパネル	録画した番組を再生するコントロールパネルへ移動

番組情報

番組情報ウィンドウ(下図の右側)ではチャンネルリストと EPG(電子番組ガイド)の 2 つに分かれます。



チャンネルリスト(上の画像の右上のウィンドウ)

チャンネルスキャンを行うと、本ソフトは検索したチャンネルを地デジ(フルセグ)とワンセグに分けてチャンネルリストに追加され、ここに表示されます。リストから視聴したいチャンネルをクリックする事によって、左側の視聴ウィンドウに放送中の番組が表示されます。


EPG(電子番組ガイド) (上の画像の右真ん中のウィンドウ)

チャンネルリストからチャンネルを選択すると、自動的にそのチャンネルの EPG を読み取り、EPG ウィンドウに番組情報を表示します。もし、放送局が数日分の EPG を提供している場合は上部の◀ ▶をクリックする事で、何日分かの EPG を確認する事ができます。 EPG の詳しい番組内容を見たい場合には、その番組を選択すると左下側の番組情報欄に番組情報の内容が表示されます。

また、本ソフトは EPG 予約録画機能を提供しております。 EPG リスト中から予約録画したい番組を選び、**予約録画リストへ追加**をクリックすれば、選択した番組を予約録画リストに追加する事ができます。本ソフトは最大 100 個の EPG 番組を表示可能ですが、それ以上は新しい番組情報を表示する事が出来ません。

アプリケーションの説明

チャンネルのスキャン



本製品を最初にご利用する際は、必ずチャンネルスキャンを行う必要がございます。本ソフトでは自動スキャン、手動スキャン、地域スキャンの3タイプのチャンネルスキャンがあります。一度スキャンした後に再度チャンネルをスキャンし直したい場合には  ボタンを押せば、スキャン画面を表示する事ができます。本製品はワンセグ放送もサポートしますので、フルセグ、ワンセグを合わせてスキャンしたい場合には、スキャン開始前に「1セグの受信」にチェックを、CATVをご使用の方はCATVパススルーにチェックを入れてスキャンを行ってください。また、途中スキャンを中止したい場合は「スキャンの停止」ボタンを押してください。

自動スキャン


自動スキャンウィンドウで「スキャンの開始」ボタンを押すと、ソフトは自動的に全ての受信可能なチャンネルを検索します。初めてご利用される場合は自動スキャンをお勧めいたします。



手動スキャン

手動スキャンでは  欄に指定のチャンネル番号を入力し、 ボタンを押す事で指定されたチャンネルを検索することができます。



範囲スキャン

範囲スキャンを行う場合はドロップダウンリストから所在の地域を選択し、 を押してスキャンを行ってください。



ツール

ツールボタンではテレビ画面設定、音声バランス調整、音声選択、CM スキップ、録画保存先選択の 5 つの設定項目をユーザーのお好みで設定することができます。

設定が完了したら  ボタンを押して設定を保存して下さい。初期設定に戻りたい場合は  ボタンを押してください。



テレビ画面設定

この項目ではテレビ画面の明るさ、コントラスト、色合い及び彩度の 4 項目について、スライドボタンを左右移動させる事で、好みの画面状態に調節することができます。




音声バランス調整

本項目はスピーカー左右の出力を調節する機能です。調節バーを左右移動する事で、好みの音声バランスに調節することができます。



音声選択

この機能は放送番組が同時に主、副音声を提供している場合に音声を選択することができます。チャンネルコントロールパネル上の  ボタンを直接押しても設定することができます。




CM スキップ



CM スキップ項目では CM スキップボタンを 1 回クリックした際にスキップする時間を 5～30 秒で調節できます。この機能は録画したファイルの再生する際のみ有効です。



録画保存先選択

この項目は録画及び予約録画のデータ保存先を決定する設定です。  を押すと保存先を選択する事ができます。

制限事項

- ・ 放送の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。そのため録画した番組を再生するには、本製品（録画時に使用したチューナー）をあらかじめパソコンに接続しておく必要があります。また録画時と同じドライブ名、フォルダ名でないと再生することができません。
- ・ 録画した番組の編集、コピー、移動はできません。
- ・ DVI接続時、グラフィックカードおよびディスプレイがHDCPに非対応のときや、デュアルディスプレイ接続時は、DigiBestTV は起動できません。
- ・ WindowsVista/7 をお使いの場合、テレビ視聴中にユーザーアカウント制御の画像が表示されるとテレビの視聴は中断されます。

地上デジタルテレビ放送の視聴について

- ・ 地上デジタルテレビ放送は、アナログ放送とは異なる方式のため、従来の環境ではご覧いただけない場合があります。ご利用前に受信可能な環境かご確認ください。
- ・ 電波の受信状態が不安な場合、映像が途切れたりブロックノイズが現れることがあります。詳しくは「社団法人デジタル放送推進協会 (Dpa)」「地デジを見るには」をご覧ください。

<http://www.dpa.or.jp/>

動作環境

対応 OS	Windows 7/Vista SP1(32bit/64bit)以上、Windows XP SP2 以上	
インターフェース	USB 2.0 (High Speed)	
CPU	ノートブック	Intel: Core Duo T2400(1.83GHz)以上 Core2Duo T5550(1.83GHz) 以上 AMD: Turion 64 X2 TL-56(1.8GHz) 以上
	デスクトップ	Intel: Pentium D 805 2.66GHz 以上 Pentium Dual-Core E2160(1.8GHz) 以上 Core2Duo E4300(1.8GHz) 以上 AMD: Athion 64 X2 3800+(2.0GHz) 以上 Athion 64 3500+(2.2GHz) 以上
メモリ	Windows 7/Vista	1GB 以上(2GB 推奨)
	Windows XP	512MB 以上(1GB 推奨)
HDD	1GB 以上、フォーマットは NTFS を使用してください。 録画する場合は録画データの保存用に別途空き容量が必要です。	
グラフィック	RAM:128MB 以上 (256MB 推奨)、Microsoft Direct X 9.0c 以上	
	ノートブック	Intel GM965(GMA X3100) 以上 AMD Radeon XPRESS 1100 以上 NVIDIA GeForceGo 7600 以上 アナログ RGB インターフェースご利用の場合に、解像度は 52 万画素までです。 デジタル(DVI/HDMI) インターフェースご利用の場合に、HDCPを対応する DVI 或は HDMI が必須、解像度は HD レベルまで対応します。
	デスクトップ	オンボード VGA Intel G965(GMA 3000)以上 (XP 時、G945 以上) AMD 780V(Radeon 3100)以上 NVIDIA nForce 6200 以上 アナログ RGB インターフェースご利用の場合に、解像度は 52 万画素までです。 デジタル(DVI/HDMI) インターフェースご利用の場合に、HDCPを対応する DVI 或は HDMI が必須、解像度は HD レベルまで対応します。

		AMD Radeon HD2400 以上 NVIDIA GeForce 8400 以上 デジタル(DVI/HDMI) インターフェースご利用の場合に、 HDCPを対応する DVI 或は HDMI が必須、解像度は HD レベルまで対応します。
ディスプレイ	XGA 以上(WUXGA 推奨)	

仕様

受信方式	地上デジタル放送方式(日本)
	ISDB-T
受信チャンネル	地上デジタル 13~62 (CATV パススルー対応)
映像記録形式	MPEG2、MPEG4-AVC/H.264
音声記録形式	MPEG-2 AAC
音声ビットレート	※音声ビットレートは放送されている番組に依存します。
録画解像度	1440 x 1080 720 x 480 (放送内容に依存) 320 x 240 (ワンセグ使用時)
アンテナ入力	F 型コネクタ
USB ポート	USB 2.0(High Speed)
B-CAS カードスロット	1 スロット
外形寸法	約 80mm(W) X 87mm(D) X 14mm(H) (突起物含まず)
重量	60g(本体のみ)
質量(梱包時)	約 450g
電源	+5V±5% (USB ポートから供給)
消費電流(最大)	<1500mW (300mA)
使用温度範囲	5~35℃
使用湿度範囲	20~80%(結露なきこと)
保証期間	1 年保証
各種取得規格	VCCI Class B、RoHS 指令準拠